

令和元年度庄原市教頭研修会

令和元年7月1日（月）14:00～16:35 庄原市総合体育館 2階 第2会議室

庄原市教育行政施策の方針を踏まえ、今日的教育課題の解決に向けた方策や組織的な学校運営のための教頭の果たすべき役割について理解することを通して、自校の学校運営のより一層の充実と改善に資することを目的に研修会を行いました。

【講話・演習】「主体的・対話的で深い学びの実現に向けて」

教育指導課 指導係長 横山 博之

■庄原市教育行政施策の方針、新学習指導要領の趣旨等、学習評価の在り方等について講話を行うとともに、「見方・考え方」をキーワードに演習を行い、「学びの変革」のさらなる推進に向けて、教頭としての役割について協議を行った。



【参加者の感想等】

- ◆「見方・考え方」を働かせる授業づくりについて、課題設定が大事であることを改めて学ぶことができた。教材研究を十分に行い、深い学びとなる授業改善を行いたい。
- ◆来年度からの学習評価の在り方について、資料を示しながら計画的に研修を進めていかなくてはならないと感じた。早速スケジュールを立てようと思う。
- ◆Society5.0における学びの在り方について、どんな力を付ける必要があるのか、その力を付けるために具体的に授業レベルでどう工夫・改善していけばよいのか、ヒントをたくさんいただいた。校内で、授業の見直しを早急に行いたい。

【講話・協議】「サービス管理の徹底について」

教育指導課 学事係長 岡崎 敏朗

■不祥事防止について及び学校における働き方改革について講話を行うとともに、不祥事の未然防止に向けた取組事例や、在校等時間の縮減に向けた取組事例について、グループ協議を行った。



【参加者の感想等】

- ◆不祥事防止研修は月1回行っているものの、少しマンネリ化していることは否めない。本日の内容から、最新の事案をもとに、「事例演習」を計画的に行っていきたい。
- ◆働き方改革に係り、各校の実態交流から具体的な取組を聞くことができ、大変参考になった。企画委員会で検討するとともに、校内の共通理解を図って取組を進めていきたい。
- ◆働き方改革の取組について、まずは自分の仕事の効率化を図り、在校等時間の縮減に向け範を示していきたい。